

健保だより

2019-8 No.59

日本精機健康保険組合 <http://ns-kenpo.jp/>

平成30年度 決算特集

平成30年度の決算がまとまりました。詳しくは2ページをご覧ください。

お知らせ

- 平成30年度の決算は別紙の通りですが、前期比では被保険者増による保険料の増加、療養費、薬剤費等の保険給付費の減少により収支差引額は増加しました。
- ただし、高齢者に対する支援金の増加、高齢化の進展による医療費の増加、介護納付金の総報酬割の拡大等により、財政面では厳しい状態が続いています。
- 以下に医療費削減に向けて身近な部分で皆様に留意いただきたい項目を記載しましたので、ご確認いただき、できることから医療費削減に向けたご協力を御願ひ致します。

① 重複受診の抑制



- 重複受診とは同じ病気で同時期に複数の医療機関にかかることをいいます。受診するたびに初診料がかかり、医療費が高額になります。また何度も検査、投薬等を行うので、体への負担も大きくなります。

② 時間外受診の抑制



- 休日や夜間など診療時間外に受診する場合は、医療費が高く設定されています。

③ かかりつけ医をもちましょう



- 既往症や健康状態を把握し、健康管理全般のアドバイスを行うかかりつけの医師をもてば、いざという時に安心です。

④ ジェネリック医薬品への切替



- ジェネリック医薬品は、有効成分や効き目は先発医薬品と同じで、安全性も国が認めている医薬品です。すべての医薬品に使用できるものではありませんが、特に長期間薬を使う場合は先発医薬品との差額が大きくなります。

⑤ 薬は必要な分だけにしましょう



- 医療費の無駄につながるだけでなく、薬の重複や飲み合わせによるトラブルもあり、必要な薬を必要な分だけもらいましょう。

健康ニュース

がんを予防しましょう!

現在日本人の死亡原因の1位はがんであり、2017年の調査では37万人以上が亡くなっています。約2人に1人ががんになるといわれていますが、生活習慣の見直しで4割は予防が可能です。

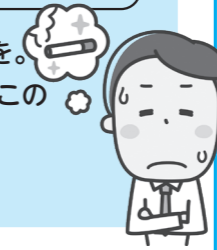
— がんを防ぐ取組 —

喫煙

- ・たばこは吸わない。
- ・他人のたばこの煙を避ける。

取組内容

たばこを吸っている人は禁煙を。
吸わない人は周りの人のたばこの煙を吸わないようにする。



食事

- ・バランスのよい食事をとる。

取組内容

食塩の摂取は最小限に抑える。
(1日当り、男性は8g未満、女性は7g未満)
野菜や果物不足にならない。
飲食物を熱い状態にとらない。



飲酒

- ・節度のある飲酒をする。

取組内容

飲む場合はアルコール換算で1日当り約23g程度に抑える。

日本酒…1合
ビール…大瓶1本、
ワイン…ボトル1/3



運動

- ・日常生活に運動を取り入れる。

取組内容

歩行または同等以上の強度の身体活動を1日60分行う。
また息がはずみ汗をかく程度の運動を1週間に60分程度行う。

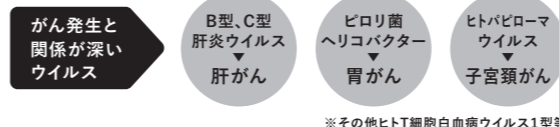


感染

- ・検査を受け、ウイルスの感染がわかった時には専門医に相談。

取組内容

がん検診を実施する



体型

- ・適正な体重を維持する。

取組内容

中高年期におけるBMI値は男性が21~27、女性は21~25の範囲になるように体重を管理する。

BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)



がん対策には早期発見が何より大切です。医療技術の進歩で早期発見であれば、6割が治ります。上記の生活習慣の改善とともに、早期発見、早期治療が可能な「がん検診」の受診を御願ひします。

平成30年度 決算がまとまりました

去る7月11日に開催された第80回組合会におきまして、当健康保険組合の平成30年度の決算が承認されました。健保組合の業績は、一般勘定では前期比で収入では保険料収入、国庫補助金が増加したこと、支出では納付金、保健事業費の増加に対し、保険給付費、事務費が減少したこと等により、総収支は241,491千円の黒字になりました。ただし総収支の中には積立金からの繰入金156,118千円を含んでおり、繰入金を除くと85,373千円の黒字になりました。(前期は繰入金、繰越金を除くと6,392千円の赤字)収入から繰入金、国庫補助金等を除いた経常収支では23,972千円の赤字でした。

一般勘定

収入

保険料収入

(皆様と事業主からいただく保険料)

保険料収入の基礎となる年間平均被保険者数が前年比142人増加し、保険料収入は68,478千円増加しました。

ただし、一人当たりの平均標準月額が679円、年間賞与額は23,445円減少しました。

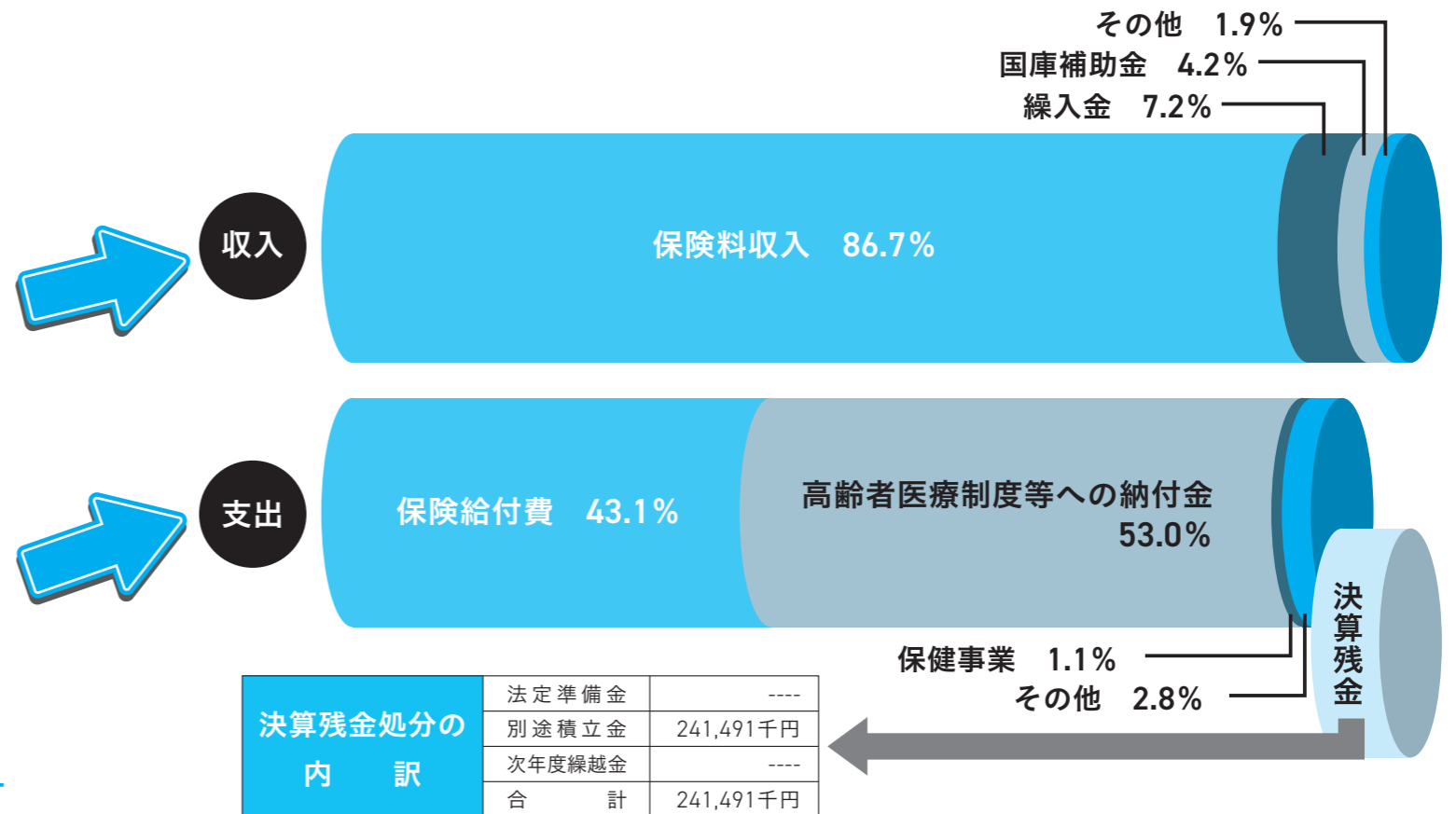
区 分	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	(A)-(B)増減
被保険者数(年間平均数)	3,678人	3,536人	142人

科 目	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	(A)-(B)増減	
収 入	保険料収入	1,886,808千円	1,818,330千円	68,478千円
	繰入金繰越金	156,118千円	174,000千円	△17,882千円
	国庫補助金	92,688千円	68,106千円	24,582千円
	その他	41,176千円	66,919千円	△25,743千円
収入合計(a)	2,176,790千円	2,127,355千円	49,435千円	
経常収入合計(c)	1,888,462千円	1,824,766千円	63,696千円	

科 目	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	(A)-(B)増減	
支 出	保険給付費	833,548千円	862,030千円	△28,482千円
	納付金	1,026,496千円	1,019,068千円	7,428千円
	保健事業	22,103千円	20,162千円	1,941千円
	その他	53,152千円	58,487千円	△5,335千円
支出合計(b)	1,935,299千円	1,959,747千円	△24,448千円	
経常支出合計(d)	1,912,434千円	1,934,797千円	△22,363千円	

収支差引額(a)-(b)	241,491千円	167,608千円	73,883千円
経常収支(c)-(d)	△23,972千円	△110,031千円	86,059千円

<平成30年度決算の主な収入・支出項目の割合>



支出

保険給付費 (医療費や手当金などの健保組合からの給付金)

皆様の医療費や各種給付金のために支払った費用です。全体では前年度に比べ28,481千円減の8億3,355万円でした。被保険者一人当たりの保険給付費は、前年度決算に比べ17,156円の減少となり、7.0%減少しました。

区 分	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	(A)-(B)増減	伸び率
被保険者1人当たり保険給付費	226,631円	243,787円	△17,156円	△7.04%

納付金 (前期高齢者納付金・後期高齢者支援金・病床転換支援金・退職者給付拠出金等)

後期高齢者支援金が増加し、納付金全体では10億2,650万円と前年比で743万円、0.7%の増加となりました。一人当たりの納付金は、被保険者増により9,107円減少しました。

区 分	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	(A)-(B)増減	伸び率
被保険者1人当たり保険給付費	279,091円	288,198円	△9,107円	△3.16%

保健事業費 (皆様の健康づくりを支援するための費用)

本年度決算額は2,210万円で、人間ドック補助費用増により前年比194万円、9.6%の増加となりました。

介護勘定

保険料収入が574万円増加、納付金は1,299万円の増加

保険料収入の基礎となる年間平均第2号被保険者数は60人増加しました。平均標準報酬月額994円増、繰入金141万円増等により、保険料収入は753万円増加しました。

厚生労働省から通知された介護納付金は前年度と比べ、1,299万円の増加となりました。

決算残金処分の内訳	法定準備金	12,489千円
	次年度繰越金	---
	合計	12,489千円

区 分	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	(A)-(B)増減
被保険者数(年間平均数)	2,087人	2,027人	60人

科 目	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	(A)-(B)増減	
収 入	介護保険収入	189,126千円	183,380千円	5,746千円
	繰入金	11,408千円	10,000千円	1,408千円
	国庫補助金	2,317千円	1,967千円	385千円
	雑収入	24千円	35千円	△11千円
収入合計(a)	202,875千円	195,347千円	7,528千円	

科 目	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	(A)-(B)増減	
支 出	介護納付金	190,386千円	177,392千円	12,994千円
	その他	---	---	---
支出合計(b)	190,386千円	177,392千円	12,994千円	
収支(a)-(b)	12,489千円	17,955千円	△5,466千円	